



ほけんだより



R5・9・30
富岡保育園

まだまだ日中は汗ばみ、残暑が続きますが、朝夕は随分と涼しく過ごしやすくなり、秋の訪れを感じられる季節となりました。今年も厳しい猛暑でしたが、子ども達は元気に乗り切ることが出来ました。

夏の疲れが出やすくなる時期ですが、運動会という一大イベントが待っています。子ども達の成長を感じて頂けることでしょう。全員揃って元気に参加できるよう、生活リズムを整え、子どもも大人も体調を崩さないように気を付けましょう。

今朝のお子さんの表情はどうでしたか？朝ごはんは食べましたか？慌ただしい朝のひと時ですが、毎日一緒にいる家族の目が一番確かです。もし、前の晩に熱があったり、いつもより熱が高めだったり、機嫌が悪かったりしたときは、登園された時に、職員へ一言お伝え下さい。また、いつもと違った様子など、連絡帳でお伝え頂けると子ども達体調の変化にも気づきやすいです。

朝は熱が下がっていても午後から急に上がる場合もあります。お子さんの健康観察、体調管理には十分気をつけてあげましょう。また休まれる時や病院受診時は、感染症対策の面からも情報を共有し、感染拡大防止に努めたいと思いますので、連絡をよろしく願います。

運動機能

はいはいから二足歩行へ、そして走る、ジャンプするへ。子どもの運動発達には順番があります。発達に応じた楽しい遊びが運動機能を向上させていきます。

6か月～1歳

おすわりからはいはい、つかまり立ち、そして伝い歩きへ。



1歳～1歳半

歩き始める。ものを持ったまま、立ち上がれるようになる。

1歳半～2歳

またぐ、しゃがむ、小走りや小さいジャンプができるようになる。

2～3歳

走る、跳ぶ、ぶら下がる、階段を上る、三輪車を押すことができる。

5～6歳

つま先立ち、なわとび、鉄棒の前回り、跳び箱、ブランコの立ち乗りもできるように。

4～5歳

片足立ち（5秒）やスキップ、でんぐり返し、階段を下りることができるようになる。

3～4歳

片足立ち（2秒）やケンケンで前進、後ろ向き歩行、三輪車をこぐことができるように。



※発達の手順を示したもので、年齢はあくまでも目安です。

テレビなどの動画を長時間見せていませんか

10月10日は『目の愛護デー』です。子どもの目を守るには、見え方の異常にも注意が必要です。また、現代はテレビやゲーム、スマホやタブレットなどのメディアに溢れています。しかし、メディアによって子どもの発達に悪影響を与えることはこれまでもお伝えしてきました。特に「乳幼児」が長時間視聴することが『言語の発達』や『社会性の遅れ』に繋がることを日本小児科学会が報告し6つのアドバイスを出しています。

6つのアドバイス

- 1 2歳以下の子どもには、長時間見せない！
内容・見方に限らず、長時間視聴は言語発達が遅れる危険性が高まる。
- 2 つけばなしはNG！ 見たら消す！
- 3 乳幼児に一人で見せない！
大人がいっしょに歌ったり、子どもの問いかけに応えたりすることが大切。
- 4 授乳中、食事中は消す！
- 5 乳幼児にも、つきあい方を教える。
見終わったら消すこと。連続して見続けないこと。
- 6 子ども部屋に置かない。



こんなサインに注意



頭を傾げる



目を細める



横目で見ると

見る力は、目から情報を取り入れ、脳で処理することを、毎日繰り返して育ちます。ところが、目に異常があると脳に情報が届かず、見る力が育ちません。早く治療を始めるほど回復しやすいため、見え方の異常に気づいたら、早めに眼科で相談しましょう。



片目をつぶって見る



片方の目の焦点が合わない

正面から「見る様子」をチェックして

見え方のチェックにおすすめなのが、紙しばい。左右の目の焦点、ものを見る様子が詳しくわかります。

